

医学部看護学科

学位（教育）プログラム名：看護学

[教育内容]

- ① 共通教育科目：国際化に対応するための語学、多様な文化や価値、人間社会を理解し、幅広い教養と知識を修得するとともに、科学的思考の基礎と主体的な学習姿勢を育むことを目的とし総合教養科目、外国語科目、保健体育科目を修得させる。共通教育科目は、看護学の主要な概念である「人間」・「健康」・「環境（社会）」・「看護」を理解するための専門教育科目の基盤として位置づける。
- ② 専門基礎科目：看護学の観点から人間を系統的・多角的・総合的に理解し、臨床判断に必要な基礎的能力を強化することを目的に、看護実践のエビデンスとなる身体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、薬物療法、健康支援と社会保障制度を理解する科目、医療安全、多職種連携に関する科目、研究的態度を育成する科目を配置する。
- ③ 専門教育科目：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、発達看護、在宅看護論、公衆衛生看護学の科目を、1年次から系統的に配置し、さらにコミュニケーション、フィジカルアセスメントを強化することで看護実践能力を育成する。
臨地実習は、看護の対象となる人間の生活の場と特性を理解し、多様な場で看護実践できる基礎的能力の育成を目的に1年次から段階的に配置する。4年次の統合実習では、施設内看護から地域包括ケアに繋がる実習展開とする。自ら課題設定・計画立案し、主体的かつ継続的に研究・学習する生涯学習姿勢を育成する。
また、看護職として幅広い活動の場が得られるように、保健師国家試験受験資格を得る保健師選択履修コースと養護教諭一種、高等学校教諭一種(看護)の免許取得のための教職課程を選択制で設置する。

[教育方法]

- ① アクティブラーニング：ロールプレイングやシミュレーション教育を積極的に活用して臨床現場を模擬的に再現し、他者との協働により事例に取り組み、計画・実践・評価しリフレクションする学習プロセスにより、主体的な学習姿勢、課題解決能力や看護実践能力を育成する。
- ② 双方向の学習：学習支援システム（LMS）による動画配信やフォーラムディスカッション、ポートフォリオを活用し、自主学習を促す仕組みを構築している。学習成果をタイムリーに教授者と学生で共有して双方向の学習活動で、学生の主体的学習を促進する。
- ③ 少人数教育：臨地実習は、少人数グループで行う。実際の看護実践の場で、看護ケアの提供やカンファレンスを通して実践的な学習を行う。4年次の看護研究をゼミナール形式で行う。学生が自らテーマを決め、課題解決に向けて取り組み、発表や論文作成を通して研究的態度を養う。